

| 科目区分   | 専門基礎分野   | 科目名      | 生命倫理     | 対象学生 | 第3学年 |
|--|--|----------|----------|------|------|
|  |  | 単位数(時間数) | 1単位(15H) | 学 期  | 第2学期 |
| 担当講師   | 非常勤講師  |          |          |      |      |
| 科目目標   | <p>生命倫理学(バイオエシックス)は、1960年代のアメリカの人権運動の中で生まれた「患者中心の新しい医療」を目指した学問である。<br/> 「生命倫理」というとき、「生命」(ライフ)という概念そのものが曖昧である。<br/> この科目では、「生命」という言葉が何を表そうとしているのかを掴むことを目標とする。</p> |          |          |      |      |
| 授業概要   |  |          |          |      |      |
| 第1～7回  | <b>生命倫理の学び方</b><br><b>妊娠・出産の生命倫理</b><br><b>人の死と生命倫理</b><br><b>グループでの話し合い</b>   |          |          | (講義) |      |
| 第8回  | <b>終了試験</b>  |          |          |      |      |
| 授業の進め方   |  |          |          |      |      |
| <p>「生命」概念の意味論を通して、「生命」という言葉がもつ多相性・多重性の理解に努める。<br/> 「生命」の概念を基礎づけるための理論を「場所論的コミュニケーション」として展開する。<br/> 「生命理論」を「ライフ・ケア」としての「コミュニケーション」として捉え直して提示する。<br/> その際、死生学的視点をも充分考慮して取り入れていく。</p> |  |          |          |      |      |
| 履修のポイント、留意事項   |  |          |          |      |      |
| <p>生命にかかわることは、総じて「自分が生きている」という経験をどこまで深く実感し、理解するかが問われる。この授業を通して、各自が自らのいのちの経験をを通して、その理解を深めるように努めてほしい。</p>  |  |          |          |      |      |
| テキスト   |  |          |          |      |      |
| <p>授業の中で書籍を何冊か紹介する。自分に合うものを選んで読む。<br/> 参考のためのプリントは随時、用意する。</p>   |  |          |          |      |      |
| 評価方法・配点  |  |          |          |      |      |
| <p>終了試験をするが、評価は課題レポート、授業への参加度で総合的に評価する。</p>  |  |          |          |      |      |